

登録コード	E2800900	開講年度	2026				
授業科目	生活経営学基礎				担当教員	JUNG HYOJUNG 他	
英文授業名	Fundamental Home Economics				副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・3時限	対象学生	2年生
講義室	教育 E 1 0 1		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素						【授業の達成目標】
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能						
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	生活経営学の基礎的理論を学習し、現代の社会が生活にもたらす影響とともに生活の諸問題を解決するための政策をふまえ、生活経営能力を高める方策を検討する。(本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます)						
(5)授業計画	第 1回：ガイダンス、生活経営学とは 第 2回：生活とは何か、生活経営の方法 第 3回：生活の組織と単位の変化 第 4回：家族に関わる法律 第 5回：生活時間のとらえ方と生活時間の実態 第 6回：人間関係のとらえ方と実態 第 7回：働くこと・職業を持つこと 第 8回：生活の社会化と家事労働 第 9回：家計のとらえ方と実態 第10回：生活と契約、消費者問題 第11回：ライフスタイルと環境 第12回：生活と福祉 第13回：生活と地域共生社会 第14回：持続可能な社会の生活設計 定期試験・授業アンケートの実施 集中講義に伴う受講生の負荷軽減の観点から、全14回の授業の内、6回以内において遠隔（オンライン）等での授業実施を検討しています。遠隔授業等を実施することになった場合には、その授業回についてeALPS上での掲示、およびシラバスを更新し、受講生へ周知を行います。						
(6)成績評価の方法	生活経営学の理解度を測る試験(60%), 毎回の授業における取り組みやレポート(30%), 受講中の態度(10%) ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	生活経営学の基礎的理論が理解できていれば「その水準にある」、その理論を踏まえて、今日の生活における課題を見出せば「やや上にある」、課題の提示にとどまらず、その解決方法を提案できればかなり上にある」、地域の人々との協働を踏まえて、未来の新たな生活様式を提案できれば「卓越している」とする。						
(8)事前事後学習の内容	・毎回の授業で前時の授業内容の理解を確認するための課題を提示する。従って、毎回の授業内容を復習し授業に臨むこと。 ・この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	毎回の授業で課せられる課題が評価につながるので、必ず全回出席すること。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	メールにて対応（学部窓口教員：yamaaki@shinshu-u.ac.jp）						
【教科書】	なし。						
【参考文献】	授業で適宜紹介する。						